学校番号	315

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史（山川出版社）						
副教材等	最新世界史図説タペストリー（帝国書院） ウイニングコンパス（東京法令出版編集部）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合で学習した歴史の学び方を活用して、世界の歴史について、近現代史を中心とするテーマを通じて、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解を深めていきます。そして事象の意味や意義、特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯をふまえて地球世界の課題を探究していきます。

・学習内容や課題に対して、自分の考えや意見を導き出し表現する力が必要です。そのため、周りの人と対話をしながら自分の考えを表現し、積極的に発表し、議論に参加してください。
・知識の定着のために授業内で小テストを実施します。復習して学習内容を振り返る習慣をつけてください。
・授業時間内の学習内容だけでなく、自らさらに学びを深めていきましょう。ノートやプリントに自ら学びを進めていったことを整理していきましょう。

2　学習の到達目標

・世界の歴史について、近現代史を中心とするテーマを通じて、これまで学んできた歴史の諸問題や現代の諸問題について、より深い理解を深める。
・世界の歴史について、近現代史を中心とするテーマ学習を通じて、歴史にみられる課題をより深く考察し、その解決方法について考える。更に、より効果的に説明したり議論したりできる力を養う。
・世界の歴史について、近現代史を中心とするテーマ学習を通じて、自らの生き方を見つめ、歴史的な諸課題を解決し、よりよい現代社会の実現を視野に主体的に解決しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史について、近現代史を中心とするテーマを通じて、これまで学んできた歴史の諸問題や現代の諸問題について、より深い理解を深めている。	世界の歴史について、近現代史を中心とするテーマ学習を通じて、歴史にみられる課題をより深く考察し、その解決方法について考えることで、より効果的に説明したり議論したりできる力を身につけている。	世界の歴史について、近現代史を中心とするテーマ学習を通じて、自らの生き方を見つめ、歴史的な諸課題を解決し、よりよい現代社会の実現を視野に主体的に解決しようとする態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	諸地域の交流・再編	第９章　大交易・大交流の時代	a: 「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。また、ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 b: 「南蛮屏風」などの諸資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流を多面的・多角的に考察し表現している。また、ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やラス＝カサス『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などの資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c: アジア交易世界およびヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	考査 小テスト	考査 レポート	レポート 振り返りシート
		第 10 章　アジアの諸帝国の繁栄	a: オスマン帝国とサファヴィー朝の支配確立の経緯とその統治体制ムガル帝国のおける非ムスリムに対する施策・統治の変遷を理解している。また、清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係を理解している。 b: オスマン帝国とサファヴィー朝を比較し、それぞれの特徴や両者の関係を多面的・多角的に考察し表現している。また、ムガル帝国時代の細密画などの図像資料や領域を示す地図などをもとに、ムガル帝国の興隆と衰退が南アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。さらに、皇帝を描いた図像資料や『康熙帝伝』などの資料をもとに、清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違いを多面的・多角的に考察し表現している。 c: オスマン帝国とサファヴィー朝、ムガル帝国、さらに清代の中国と隣接諸地域について、自分が抱いた興味・関心や疑問，追究してみたいことなどを見いだし，見通しを持って学習に取り組もうとしている。	考査 小テスト	考査 レポート	レポート 振り返りシート

		第 11 章　近世ヨーロッパ世界の動向	a: ルネサンスの特徴や後世に与えた影響、また新宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布、主権国家および主権国家体制の成立、北欧・東欧の各国の関係の推移や、その改革の内容、科学革命と呼ばれる一連の変化が生じた背景を理解している。 b: 美術作品などの図像資料や「九十五カ条の論題」などの諸資料を用いて、ルネサンスの新しさと古さ、宗教改革の動きが広まった要因、主権国家体制の成立と戦争の関係、啓蒙専制主義による改革が各国におよぼした影響、さらに科学革命が社会に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現している。 c: ルネサンスや宗教改革、主権国家体制の成立、北欧・東欧諸国の動向、科学革命と啓蒙思想について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	考査 小テスト	考査 レポート	レポート 振り返りシート
2	諸地域の結合と変容	第 12 章　産業革命と環大西洋革命	a:産業革命が 18 世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開、アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのか、フランス革命がおこった要因やナポレオンが台頭した背景、中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している。 b: 当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響や、アメリカ独立宣言や「権利の章典」などの資料を基にアメリカ合衆国独立の独自性、「旧体制」の風刺画などの図像資や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたこと、中南米諸国の独立年を表す地図などをもとに、ヨーロッパ情勢を踏まえたうえで、短期間に多くの独立が達成された要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c: イギリス産業革命・アメリカ合衆国の独立・フランス革命とナポレオン・中南米諸国の独立について、自分が抱いた興味・	考査 小テスト	考査 レポート	レポート 振り返りシート

			関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習にとりくもうとしている。			
		第 13 章　イギリスの優位と欧米国民国家の形成	a: ・19 世紀のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や 1848 年革命の様々な主義主張や時代的な背景や各国の共通点・相違点などを踏まえて理解している。 ・南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。 ・19 世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を理解している。 b: ・ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各国の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをもとに、19 世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・アメリカ合衆国の領土拡大を示す地図や大陸横断鉄道の写真などの図像資料をもとに、アメリカ合衆国の急速な発展の要因を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・19 世紀欧米文化の様々な事例をもとに、この時期の文化と現代の文化とのつながりを多面的・多角的に考察し、表現している。 c: ・ウィーン体制・19 世紀後半のヨーロッパの再編成・アメリカ合衆国の発展・19 世紀の欧米の文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習にとりくもうとしている。	考査 小テスト	考査 レポート	レポート 振り返りシート
3	諸地域の結合と変容	第 14 章 アジア諸地域の動揺	a: ・オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係とも合わせて理解している。	考査 小テスト	考査 レポート	レポート 振り

			・ヨーロッパ各国による南アジアの植民地化の経緯を理解している。 ・欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。 b: ・マムルークの一掃を表した図像資料やオスマン帝国憲法などの資料をもとに、この時期のアジア各地での変化や改革について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・東南アジアの植民地化の地図やゴムのプランテーションを示した図像資料をもとに、ヨーロッパ各国の進出の経緯をふまえ、南アジアと東南アジアにおける植民地化と世界経済の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 ・文字資料「マカートニーの 1794 年１月の日記」やアヘン戦争を描いた図像資料、東アジアの開港場を示した地図などをもとに、この時期の東アジア国際秩序の変容について多面的・多角的に考察し表現している。 c: ・西アジアの変容、東南アジア・南アジアの植民地化、東アジアの激動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習にとりくもうとしている。			振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度